

◎ 目次 . . . . .

1. あいさつ
2. セッション及び講演案内
3. 「なぜ」と問うことの中で(128)  
—小売価格(東京都区部)シリーズ 第43回魚介類⑧かつお(鰹) 岡部 進
4. 生活数学シリーズ本(別冊No.1・2010.7.1刊)  
「知的好奇心のヒント——数値文化を考える」から抜粋紹介  
—— 8. 時代はゲーム化している(当メールマガジン第8号掲載文) 岡部 進
5. 著書及び新刊本紹介(5月17日刊行予定の新刊案内があります)
6. 今日のワンポイント「梅の収穫」 岡部 進
7. 編集後記
8. 講演会(セッション)参加返信フォーマット

1. あいさつ . . . . .

6月になりました。日々、室内湿度計の針の位置が気になるでしょう。針の位置が黴(かび)の繁殖量のレベルを教えてくれるのかもしれませんが。そこで乾燥機が話題になるでしょう。けれどこの乾燥レベルも室内湿度計が教えてくれるでしょう。しかし、湿度計に頼ってばかりでは窮屈です。矢張り感性にたよるしかありません。この感性も様々な電気製品に攻め込まれて劣化しつつあるので、黴退治には「五感」を鍛えることなのでしょう。頑張りましょう。五感とは、見る、聞く、かぐ、味わう、触れることです。

(6月1日：生活数学ネットワーク代表 岡部進)

2. セッション及び講演案内 . . . . .

◎セッション 6月24日(第4火) 13:30~15:30(13:00 受付開始)

生活数学セッション(第171回) 於：いつもの会議室

「知的好奇心のヒント～生活数学のすすめ—その29」

※申込みは、最後にあるフォーマットをご利用下さい。

※仔細は別途セッション案内に掲載。(約1週間前に案内中)

※詳しくはホームページをご覧ください。

◎先月から、マレーシアから輸入する農水産物の1回目で「パーム油」でした。あまり馴染みのない品目ですが、現役時代の記憶で詳しい人もいて、意外に身近なものであることがわかりました。当セッションは、かつて現役時代にさまざまな職業で活躍された方が多く、毎回その豊富な経験に基づく意見感想が出て、興味深いものになっていきます。講師と参加者と一緒になって作り上

げるセッション、若い世代の方も是非ご参加を。

### 3. 「なぜ」と問うことの中で(128) . . . . .

#### 【小売価格(東京都区部)シリーズ—第43回かつお(鰹)】

岡部進 (元日本大学教授)

#### 1 「かつお(鰹)」というとな何を浮かべますか？

突然に問われると、咄嗟(とっさ)に浮かぶのはテレビ放映の「かつおの1本釣り」シーンでしょう。繰り返し押し寄せる波群に揺れる漁船に臆することなく1本釣りに集中している漁師たちの雄姿——テレビ放映されるたびに素晴らしいと感動する。これは筆者のカツオ観です。

さて、本題に戻ってかつお(以下、カツオ)といえは、

- ・カツオのたたき

でしょう。

- ・生鮮カツオを二枚におろして切れ身にする前にそれらの表皮を稲藁や木炭の火で炙ってから、擦り生姜醤油で食べる

のです。なぜ火であぶるの？と質問されてもわかりません。多分、寄生虫対策でしょう。

次はなに？——鰹節(かつおぶし)でしょう。

- ・鰹節は生鮮カツオを二枚にカットしてそれぞれの切れ身を天日干しして硬い固形に仕上げる出汁用カツオ

のことです。硬い鰹節は削って薄い小片にして使います。料理の必需品でよく味が出ると言われて重宝らしい。今では「鰹節は機械で削られて小片の袋入り」に変身して商品になっています。つまり、カツオは鰹節になって生活に浸透しているという一面もあるでしょう。

#### 2 カツオの小売価格の年次別推移

次に、カツオの小売価格の歴史に目を向けましょう。カツオの小売価格の年次別データは、政府統計では平成3年(1991年)以降です。これは図1です。当該年以前はカツオではなく鰹節を統計対象としていたのですね。この点は不案内でビックリです。

##### (1) カツオ小売価格折れ線の特徴

###### ①折れ線の当該期間の存在範囲

最大値と最小値に目を向けると、

- ・最大値 311 円/100g(平成4年、1992年)
- ・最小値 194 円/100g(令和元年、2019年)

ですから、

- ・データの存在範囲は 117 円/100g

です。当該期間の30数年で117円は値上げ幅が小さいと言えるでしょう。

###### ②カツオ小売価格折れ線のカタチ

- ・上昇傾向でもなく下降傾向でもなく上昇下降の繰り返しの波状

でしょう。

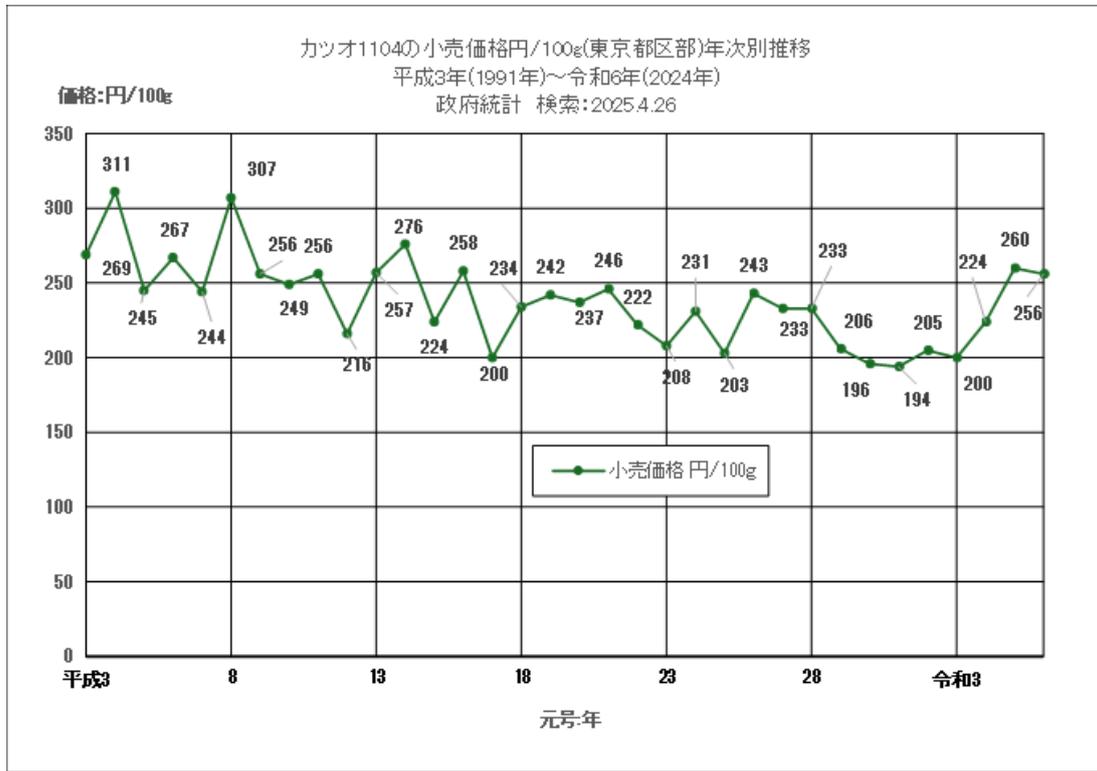


図1 筆者作成

このような波型折れ線の場合は折れ線の特徴を掴むには、図1の縦軸に等間隔の点を取り、この点を通る水平線を引いて、二本の水平線間に含まれる点を数えるのがよいでしょう。度数の一覧が得られるのです。この一覧表は、統計のイロハと言われている「度数分布表」です。早速、度数分布表を作りましょう。

## (2) 度数分布表の作成

カツオの小売価格年次別推移の度数分布表は表1(次頁)です。

### ① 度数分布表の見方

表1に登場している用語の説明をしましょう。

- ・ 階級——統計用語で当該期間の小売価格の範囲を等間隔に区分した時の各区分を表す
- ・ 階級値——統計用語で階級幅の中央値  $x_i$
- ・ 度数——階級に含まれる(点の)個数(ここでは年数)  $f_i$
- ・ 度数分布の特徴を表現するのに一般的に活用されるのは平均と標準偏差で、当該期間年数を  $N$ 、総和の記号  $\Sigma$  を使うと、次のように表されます。

・ 平均  $m$ ——
$$m = \frac{\Sigma x_i \times f_i}{N}$$

・ 標準偏差  $\sigma$ ——
$$\sigma = \sqrt{\frac{\Sigma (x_i - m)^2 \times f_i}{N}}$$

しかし、平均や標準偏差は万能ではありません。

表1 筆者作成 度数分布表				
カツオの小売価格(円/g、東京都区部)				
平成3年(1991年)~令和6年(2024年)				
出典:政府統計検索:2025.5.2				
階級 超えて、以下	階級値 $x_i$	度数 $f_i$	$x_i \times f_i$	$(x_i - m)^2 \times f_i$
190~200	195	4	780	7361.64
200~210	205	4	820	4329.64
210~220	215	1	215	524.41
220~230	225	3	675	499.23
230~240	235	5	1175	42.05
240~250	245	6	1470	302.46
250~260	255	6	1530	1754.46
260~270	265	2	530	1468.82
270~280	275	1	275	1376.41
280~290	285	0	0	0
290~300	295	0	0	0
300~310	305	1	305	4502.41
310~320	315	1	315	5944.41
合計→		34	8090	28105.94
		平均 $m$ →	237.94	826.65
		標準偏差 $\sigma$ →		28.75
エクセル使用の結果		平均 $m$ →		238.47
		標準偏差 $\sigma$ →		28.66

### (3) 度数分布図

度数分布表を図表現すると度数分布図になります。これは図2です。

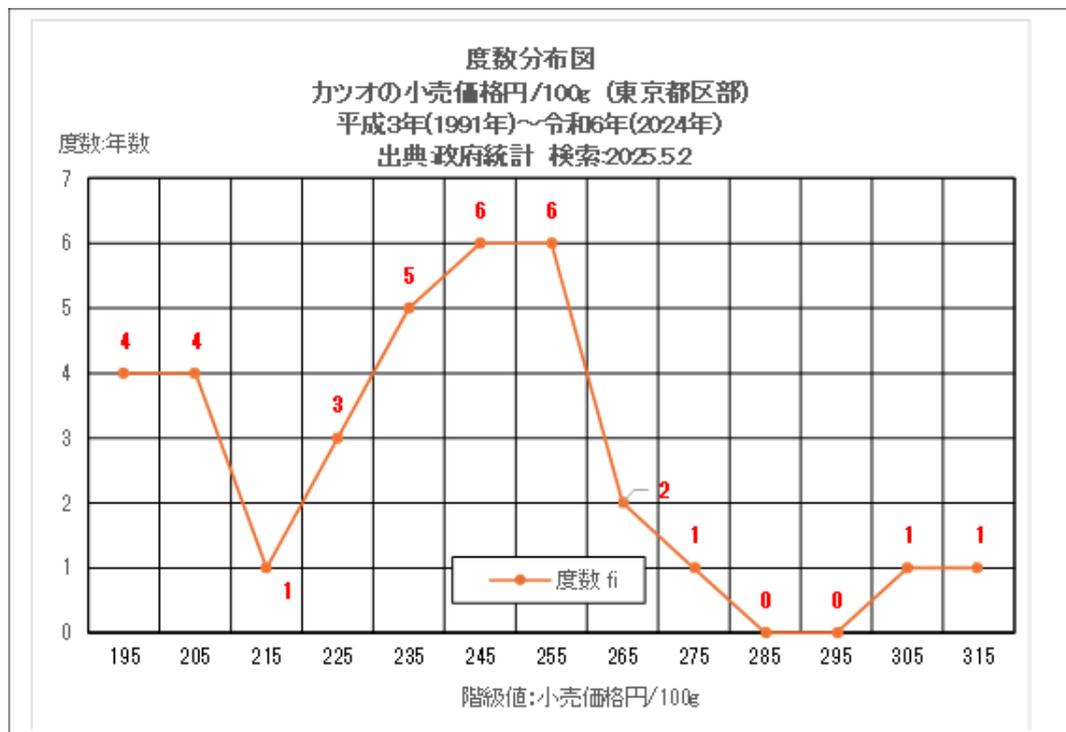


図2 筆者作成

### (4) 度数分布表(図)の度数列の特徴

- ・ 280(円/100g)を超えて 320(円/100g)までに 2 個の階級に含まれる度数 2 は他の点列から全く離れているので対象集団に含めない

- ・最大度数 6 は二つの階級にあって、240(円/100g) を超えて 260(円/100g) までに含まれる
- ・度数列は、最大数に関して対称性がなく、度数列の先頭の 4, 4, が集団の異常性を生み出している
- ・したがって、平均と標準偏差は算出しても集団の特徴を十分に表すとは言えない

### ③今後のカツオの小売価格の予測

難しい判断になりますが、最大度数 6 の階級 (240(円/100g) を超えて 260(円/100g)) までに含まれる確率が高いでしょう。

## 3 カツオの漁獲量年次別推移

次にカツオの漁獲量の年次別推移に目を向けましょう。図 3 です。

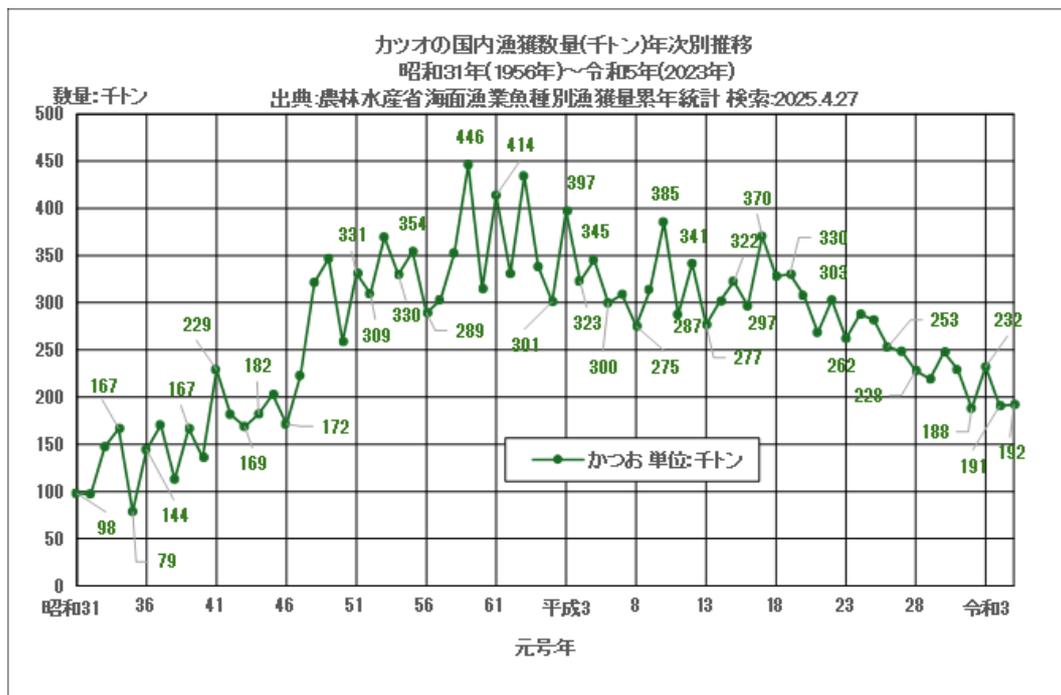


図 3 筆者作成

### (1) カツオの漁獲量年次別折れ線の特徴

図 3 は、昭和 31 年(1956 年)以降のカツオの漁獲数量です。半世紀を超えたデータの記録です。この記録がもたらししている特徴を列挙しましょう。

#### ①最大値 446 千トン(昭和 59 年、1984 年)

- ・一人当たり 3707 グラム

(当該年の人口は 120.305 百万人ですから  $446 \times 10^9 \div (120.305 \times 10^6) = 3707.24 \dots$ )

ここでカツオの重さをインターネットで調べると、

「1 年魚は長さ約 15 cm、重さ約 60 g、2 年魚は長さ約 45 cm、重さ約 2000 g である」(出典: Yahoo Japan ホームページ)

という。この情報によると 3707 グラムは、

- ・1 年魚で 61~62 本強、2 年魚で 2 本弱

ということになるでしょう。スゴイ漁獲数量ですね。

#### ②最小値 79 千トン (昭和 35 年、1960 年)

- ・ 一人当たり 846 グラム  
(当該年の人口は 93.419 百万人ですから  $79 \times 10^9 \div (93.419 \times 10^6) = 845.65\dots$ )
- ・ 1 年魚で 14 本である

という。

③令和 5 年(2023 年)の漁獲数量 192 千トン

この漁獲数量は昭和 46 年(1971 年)から翌年にかけての水準でしょう。

- ・ 一人当たり 1544 グラム  
(当該年の人口は 124.352 百万人ですから  $192 \times 10^9 \div (124.352 \times 10^6) = 1544.00\dots$ )
- ・ 一人当たり 1 年魚で 25~26 本、2 年魚で 1 本弱

④漁獲数量折れ線のカタチは富士山型

- ・ 昭和 31 年(1956 年)以降から昭和 59 年(1984 年)まで上昇傾向
- ・ 昭和 59 年(1984 年)を超えて平成 17 年(2005 年)まで上昇下降の波状
- ・ 平成 17 年(2005 年)を超えて令和 5 年(2023 年)まで下降傾向

#### 4 漁獲数量折れ線の上昇傾向及び下降傾向の数値化

上昇傾向や下降傾向を数値で表すには、必要とする期間の折れ線に近似する関数のグラフ(ここでは一次関数のグラフ)を表す式が必要です。このために次の㊦㊧に従って図 3 の量対応画面を数対応 x-y 座標平面に変換しましょう。

㊦横軸を x 軸とし、スタートの昭和 31 年を数 1 とし、年単位を数 1 とする

㊧縦軸を y 軸とし、0 千トンを数 0、単位の千トンを数 1 とする

この変換後の数対応 x-y 座標平面は図 4 です。

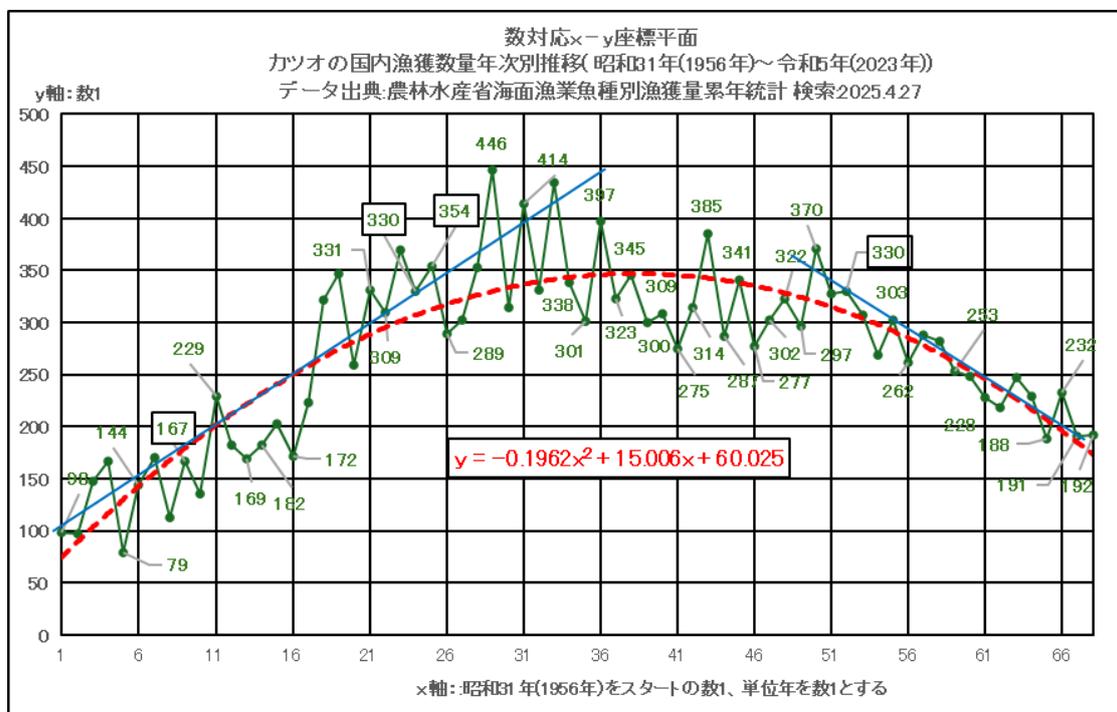


図 4 筆者作成

(1) 折れ線が山のカタチ(上に凸あるいは上に湾曲)をしているので近似する仕方は次の二通りがあるでしょう。

①二次関数のグラフ(放物線)で近似する

②二本の直線で近似する

(2) 二次関数のグラフ(放物線)での近似

①近似の二次関数のグラフの求め方

図4をもとにエクセルソフトを使って近似直線キーをクリックして二次関数のグラフを指定すると二次関数のグラフ【赤色の点線】と次の式①が登場します。

$$y = -0.1962x^2 + 15.006x + 60.025 \quad \dots\dots①$$

式①は、そのまま上昇や下降の比率を表していませんから、「微分」しましょう。微分した結果は、次の式②になります。

$$y' = -0.1962 \times 2x + 15.006 \quad \dots\dots②$$

ここで、 $y' = 0$  とすると、上昇から下降への境目の  $x$  の値が得られます。すなわち、

$$-0.1962 \times 2x + 15.006 = 0$$

ゆえに、 $x = 15.006 \div (2 \times 0.1962) = 38.24\dots$

このことから折れ線は  $x=38$  と  $x=39$  の間で右上がり(上昇)から右さがり(下降)に代わることが分かります。いいかえれば、図3では、平成5年(1993年)の数か月後にカツオの漁獲数量が増加から減少に変わるということです。

②上昇率と下降率の求め方

ここでは上昇率は割愛して、直近の令和5年(2023年)及び令和6年(2024年)の下降率を求めましょう。

・令和5年(2023年)は  $x=68$  ですから、 $y' = -0.1962 \times 2 \times 68 + 15.006 = -11.67\dots$

・令和6年(2024年)は  $x=69$  ですから、 $y' = -0.1962 \times 2 \times 69 + 15.006 = -12.069\dots$

したがって、

・令和5年(2023年)では、 $y = -0.1962 \times 68^2 + 15.006 \times 68 + 60.025 = 173.2042$ (千トン)で下降率は11.67千トン

・令和6年(2024年)では、 $y = -0.1962 \times 69^2 + 15.006 \times 69 + 60.025 = 161.33\dots$ (千トン)で下降率は12.069千トンになるでしょう。

(3) 二本の直線近似をめぐる

①昭和31年(1956年)以降から昭和59年(1984年)まで上昇傾向の数値化  
当該期間の折れ線に近似する直線を探すとA(9, 167)、B(24, 330)を通る直線が最適でしょう。そこで直線ABの傾きを $m_{AB}$ とすると、

$$m_{AB} = \frac{330-167}{24-9} = 10.86\dots$$

となります。したがって当該期間では毎年10.86千トンの増量であるのです。また当該期間での人口は、90.172~120.305百万人と幅がありますから、中間の100百万人とすると、

・一人当たり108.6グラム ( $10.86 \times 10^9 \div (100 \times 10^6) = 108.6\dots$ )

になるでしょう。

②平成17年(2005年)を超えて令和5年(2023年)まで下降傾向の数値化  
当該期間の折れ線に近似する直線を探すとC(52, 330)、D(67, 191)を通る直線が最適でしょう。そこで直線CDの傾きを $m_{CD}$ とすると、

$$m_{CD} = \frac{191-330}{67-52} = -9.26\dots$$

となります。したがって当該期間では毎年 9.3 千トンの減量であるのです。また当該期間での人口は、127.768~124.352 百万人と幅がありますから、中間の 126.06 百万人とすると、

$$\cdot \text{一人当たり} -73.45 \text{ グラム} \quad (-9260 \times 10^6 \div 126.06 \times 10^6 = -73.45\dots)$$

になるでしょう。

## 5 カツオの消費数量

次にカツオの国内消費数量に目を向けましょう。この消費数量が分かると、カツオの需要と供給のバランスを把握することができるからです。しかし、政府統計には国内消費数量データはありません。けれども、政府統計・家計調査から「二人以上の世帯」のカツオ消費量の年次別データがありますから、カツオの国内消費数量は算出が可能なのです。算出には数ステップが要します。この結果は表 2 です。

表 2 筆者作成 カツオの国内消費数量の年次別推移の算出							
平成 22 年(2010)~令和 5 年(2023 年)							
出典:政府・家計調査 検索:2025.3.11							
元号: 年	西暦: 年	「二人以上の世帯」 の消費量		二人以上の 世帯の構成 員数	一人当た りの消費 数量: g	人口数: 百万人	国内消費数 量: トン
		数量: g	金額: 円				
平成 22	2010	1126	1629	3.09	364.4	128.0	46643.4
23	2011	993	1445	3.08	322.4	127.8	41203.1
24	2012	919	1391	3.07	299.3	127.5	38166.9
25	2013	1002	1536	3.05	328.5	127.4	41854.0
26	2014	968	1608	3.03	319.5	127.2	40636.8
27	2015	1004	1613	3.02	332.5	127.0	42221.2
28	2016	974	1620	2.99	325.8	127.0	41370.6
29	2017	803	1396	2.98	269.5	126.9	34194.9
30	2018	815	1408	2.98	273.5	126.7	34651.2
令和元	2019	884	1442	2.97	297.6	126.5	37651.9
2	2020	718	1297	2.95	243.4	126.1	30691.5
3	2021	966	1517	2.93	329.7	125.5	41376.5
4	2022	779	1467	2.91	267.7	124.9	33435.4
5	2023	846	1737	2.90	291.7	124.3	36261.3

表 2 の「国内消費数量」列を見ると当該期間での数値の流れは、最大値 46643.4 トン(平成 22 年、2010 年)、最小値 30691.5 トン(令和 2 年、2020 年)で、この範囲を上下しています。したがって、この範囲のカツオが家庭内需要数量であるとみなすことができるでしょう。

## 6 カツオの需要と供給

最後にカツオが安心して食べられるか否かが気になるころでしょう。それには漁獲数量と国内消費量を捉える事です。そこで令和元年(2019 年)以降の両

者を列挙すると表3になるでしょう。

表3 筆者作成 カツオの需要と供給				
令和元年(2019年)～令和5年(2023年)				
出典:政府統計検索:2025.5.6				
元号:年	西暦:年	カツオの需要と供給		漁獲量÷消費量(倍)
		消費量:トン	漁獲量:トン	
令和元	2019	37652	228949	6.08
2	2020	30691	187936	6.12
3	2021	41376	232270	5.61
4	2022	33435	190659	5.70
5	2023	36261	192219	5.30

表3から供給は需要の5.3～6.12倍ですから、これからも安心して食べられるでしょう。

以上  
(2025.6.1・岡部)

【先月号の訂正】※下記、赤字部分を訂正

3. 「なぜ」と問うことの中で(127)——小売価格(東京都区部)シリーズ 第42回魚介類⑥ぶり(鰯)

4 鰯類漁獲数量年次別推移

(1) 鰯の漁獲折れ線の特徴

②最小値 26915 トン(昭和51年、1976年)

・一人当たり **1087g** → (正) **238g**

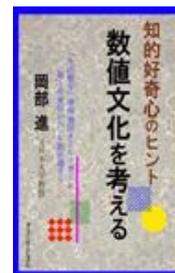
(当該人口は、113.094 百万人、**125153** × 10<sup>6</sup> ÷ (113.094 × 10<sup>6</sup>) = **1086.83**…) → (正) **26915** × 10<sup>6</sup> ÷ (113.094 × 10<sup>6</sup>) = **237.98**…

※掲載文の無断転載を禁じます。

☆ご意見、ご感想をお寄せ下さい。⇒Mail

4. 「知的好奇心のヒント——数値文化を考える」から抜粋紹介  
8. 時代はゲーム化している . . . .

★2010年7月1日刊行の上記タイトルの本は、当メールマガジン第1号から16号までの掲載文をまとめた生活数学シリーズ本・別冊第1号です。今読んでも新鮮さを失っておらず、あらためて、生活数学普及活動のスタート地点に立ち返り掲載させていただきます。



👁 はじめに 👁

世の中もインターネット時代になって、送受信希望者が世界のどこに住んでいても、自宅から自分の思っていることをメールで発信することも受信することも出来る。

しかも受信者からの返信メールで自分の思いへの共感や意見、批判も直に頂く事が出来る。このやり取りが瞬時に出来るのも素晴らしい。

こんな素晴らしい情報通信機器を使うことは、新しい文化、新しい芸術の創造をもたらす。そうした情報

通信機器を使って私も、皆さんと共に、いま提唱している「生活数学」を考えてみたいという決意をしました。もちろん情報機器の使い方や、発信操作の分からない僕ですから、サポートしてくれる女房役を引き受けてくれる人が居なければ出来ない。

幸いにも、私が書いている「生活数学シリーズ」の刊行を手がけていただいているヨーコインターナショナル代表の前田洋子さんが女房役を引き受けてくださることになりました。

こうしたいきさつから、『生活数学』情報通信』を始めることにしました。どうぞよろしくお願ひします。(2009. 3. 12)

※ 1. スイカ (suica) カードの普及と心配(当メルマガ第1号) (平成21年3月18日発信) /  
2. 3月14日という日を忘れない! (同第2号) (平成21年4月1日発信) / 3. 福澤諭吉のこと…「萬國政表」～講演会案内から (同第3号) (平成21年4月15日発信) / 4. 数値が一人歩きをしている! (同第4号) (平成21年5月1日発信) / 5. 環境にやさしいハイブリッド車に目を向けると——保有台数は指数関数のグラフのような伸びであった! (同第5号) (平成21年6月1日発信) / 6. 「レシートの生活数学」へ、その誘い (同第6号) (平成21年7月1日発信) / 7. 算数と数学はどこが違うの?～暑中お見舞いから (同第7号) (平成21年7月8日発信) / (以上、前号)



## 8. 時代はゲーム化している (2009年7月23日に書き下ろし原稿のまま)

最近の世相には、プロセスは問わないで、「結果オンリー」という見方があるのかもしれない。野球で言えば、9回までの両チームの攻防作戦や選手のホームラン、ヒットエンドラン、バンド、走塁といったような試合の動きを楽しむのではなく、勝ち負けの結果だけをとりあげると言う見方である。とりわけ、シリーズの終わり頃になると、優勝するかしないかということでシリーズのすべてがきまるような見方が広がり、優勝することが不可能なチームには関心がないかのような、結果だけが先行するという見方になりがちである。この見方で可哀想なのは、優勝から遠のいてしまったチームの選手たちであろう。懸命にプレーをしても、話題にならない。

こうした世相に拍車をかけたのは、「勝ち組と負け組」という言葉である。いま、この言葉は多少とも消えたようで新聞紙上に登場してこないが、ある時期に、この言葉が流行(はや)った。人生のある時期において、人の人生を「勝ち組と負け組」という表現で捉え、人生を評価することに結びついた。この言葉は、まさに人生を結果オンリーのゲームのように捉える事と変わりがないであろう。

いまも「勝ち組と負け組」という言葉は、亀がひょこりと水の中から頭を出して顔ををぞかせるような格好で、大学受験の時期に必ず登場する。有名〇〇大学の合格発表シーンに見られる光景は人々の目に焼きつく。合格は人生の「勝ち組」、不合格は人生の「負け組」というようにレッテルが貼られているような光景がテレビ画面に映る。大学受験も、この時期の段階で、結果オンリーのゲームになってしまうのかもしれない。しかもこの言葉は、〇〇大学合格人数だけで、「勝ち組」学校、「負け組」学校と言うようにエスカレートして登場

している。そして勝ち組学校にも負け組学校にも順序が着く。某週刊誌では大学合格ランキングという見出しの記事が登場し、同時に大学合格者数の一覧が添付されているのは、大学受験を結果オンリーのゲームにしているといわれても仕方がないであろう。

もちろん、結果オンリーと言っても、結果にはプロセスがついているのだから、結果が「負け組」になってしまったのは、最善を尽くしていなかったからだとか、プロセスが上手に機能しなかったのだとも言えるのかもしれない。つまり結果からプロセスを見るという見方もあるであろう。プロ野球でのシーズン中の補強などはこうした例であって、スポーツ界ではよく見られるような見方である。

結果オンリーのゲームと言えば、最近、テレビに登場しているクイズ番組である。このクイズには国語、算数、社会、理科というタイトルのクイズがあって、例えば、算数の番組を見ていると左辺と右辺に適当な数を入れて等式が成立つようなクイズであって、次のような類の問題である。

【クイズ問題】 次の[ ]に四則演算記号（＋、－、×、÷）のいずれかを入れなさい。

$$12 \times 3 [ ] 2 + 6 = 8 \times 3$$

このクイズ問題は、穴埋めであって選択肢は4つである。＋、－、×、÷を順番に入れていけばすぐに答えが出るのだから、このクイズを見ている児童は、「算数はクイズだ」「算数はゲームだ」と思うのかもしれない。また国語では、難しい漢字の読み方が登場する。出題の漢字は文脈と関係なく単独であって、辞書も使えないのだから、調べると言う作業も出来なく、読めるかかどうかの結果オンリーのゲームになってしまう。ここでも「国語もゲームだ、クイズだ」と思う児童が出てくるのかもしれない。「社会」では、歴史上の人物が登場していて、ひとりだけ共通でない特質を持っているものがいて、この人物を避けて回答するようなクイズである。これも、歴史上の人物を単なるクイズの対象にしてしまいかねない。

こうしたゲームを見ていると、学校で学習する算数も、国語も、社会も、理科も、結果オンリーの勝ち負けのゲームになっていくのではないのかと、危惧するのは私だけであろうか。

いま、このようにクイズがテレビで頻繁に登場し、クイズを散りばめた番組でない高い視聴率が獲得できないかのようなのである。しかしクイズは、勝つか、負けるかであって、結果オンリーのゲームでしかない。ここには結果にたどり着くまでもプロセスは入り込まない。

目を日本の政治や経済、教育に移してみよう。結果オンリーのゲーム観で日本の政治や経済、教育を見つめている人は、皆無ではなく、テレビや新聞にも登場しているように思う。

例えば、「派閥」「人数あわせ」「多数派工作」「〇〇円の献金」「企業合併」「破産」「大学ランキング」「学力低下」などの言葉に付随して、こうしたゲーム観が顔を出しているように思う。

さらにゲームとまではいかないにしても最近頻繁に〇〇億円の宝くじが発売されている。これも、結果オンリーであろう。当たるかいないかの事だけであるから、勝ち負けだけのことでしかない。と言っても、抽選日までの期間、当

るかもしれないと楽しめるからいいという人もいる。結果オンリーゲームの楽しみ方にはいろいろあるのであろう。

こうした中で、結果オンリーでもプロセスを重視している人達にも出会う。例えば、野菜づくり、米づくりで、「無農薬」「化学肥料なし」に取り組んでいる農家である。あるいは、食品加工業者である。「添加物を一切使用していません」と瓶びんや缶かんのラベルに表示し食品メーカーである。食材や食品を生産している人達は、結果オンリーの世間を見つめながらも生産プロセスを重視しているといってもよいであろう。

言うまでもなく、「結果オンリー」にたいして「プロセス重視」を言うのは、敗者のような扱いを受け易いから、勇気が必要である。というのも、「プロセス重視」をモットーとしても、「ゲームに負けたらおしまいだ」といわれちゃうからである。

そこで、登場するのは「プロセス重視」には、長期的な展望が伴うという事である。思い浮かべるのは、長期にわたって品種改良で新しいりんごを生産した農家のことである。生産が上がらない。結果が出ないと苦勞をかさねた頃は、周囲から笑われたらしい。けれども、結果オンリーの世間から、「美味しい」と受け入れられて、生産高が高まり、いま外国にも輸出していると言う。こうした例はアメリカでもある。農務省から「USDA ORGANIC」（以下、オーガニックと略す）と認定された製品を生産している農家である。認定を受けるにあたっては、基準を満たすまで、最低3年がかかる。土壌に排除すべき化学物質が含まれていれば、指定された基準値まで取り除かなければならない。また禁止されている農薬を使わないなど、さまざまな決まり事項がある。この決まり事項を達成するにはかなりの年月が必要になる。こうして決まりを達成した農家で生産された製品には認定ラベルがつく。製品もさまざまで、果物、野菜、肉、牛乳、珈琲などである。また、さらにこれらのオーガニック商品を扱う店も認定を受けなければ売ることが出来ない。実際にハワイ州のマウイ島でオーガニック商品を購入したが、これらの商品をすべて扱っている店は連日のように賑わいを見せていた。またオーガニックコーナーを設置している店では、他の商品と併置されていた。人々はラベルを見て、値段と折り合いが付かなければオーガニック商品を購入したくても諦める。いま日本でも、オーガニック珈琲が輸入されて店頭で売られるようになった。値段はやや高いが、いずれ珈琲に限らず、こうしたオーガニック商品は輸入されて日本でも広まるであろう。（詳しくは拙著『ここにも生活数学』（生活数学シリーズのNo.6）第2章）

このように、「プロセス重視」で 品種改良や新しい事業に取り組むには、長期の展望を持って日々努力することが大事であるように思う。けれども、結果オンリーを目指す世相では、性急になって、「プロセス重視」の商品は、値段が高いとか、コスト高だとか、採算が合わないとかで、なかなか定着して広がらないのかもしれない。こうした例が日本の野菜づくりに見られる。有機栽培大根やほうれん草などは、店頭にあまり置かれていない。値段が高いからであって、その為には買わないのかもしれない。こうしたデータが農林水産省のホームページで見ることが出来る。（前掲『ここにも生活数学』第2章図6、9）

こうしたデータを見ると日本は、健康や環境が優先するのではなく、収益優

先の結果オンリーの時代なのかもしれない。こうなると時代は、長期展望のない、短期決戦の勝ち負けゲームで溢れるようになるであろうから、そうならないようにお互いに努力をしなければならない。(2009. 7. 23)



(2009. 4. 15) 経済人が集まる会で第1回目の講演



◇いま 15 年前に執筆して世に出た文章を読んで、主張している現象は、現在も変わっていないように思います。というよりも、いわゆるスマホ現象が、もっと「結果オンリー」を加速しているように思えますね。(岡部進)

☆ご意見、ご感想をお寄せ下さい。⇒Mail

## 5. 著書及び新刊本紹介

(税込表示価格: 税 10%)

**【最新刊】(好評発売中)2025年5月17日刊行**

「豊かな食材文化の日本  
——農水産物の生産と消費の半世紀」

(続・生活数学シリーズNo.6)

ISBN978-4-9905889-8-4 四六判 234 頁 定価 2,200 円

(本書は、2009 年より毎月 1 回発信しているメールマガジンに、平成 28 年(2016 年)10 月～平成 31 年(2019 年)4 月までに掲載した原稿をまとめたものです。(著者))



● = (続・生活数学シリーズ別冊No.2) <2023 年 12 月 26 日刊行>

「近隣諸国から輸入する農水産物の品目・数量・金額の半世紀の足跡を辿る」

——生活数学セッション講演(令和 4 年 4 月～令和 5 年 8 月)「数値文化の近未来 98～115(通算 133～150)をもとに——」

ISBN978-4-9905889-7-7 (B5 判 138 頁 1,100 円)

【続・生活数学シリーズNo.1～5】

● = 「数学史から十話」(2022 年 11 月 21 日刊行) ● = 「明日への生活数学」(2021 年 3 月 1 日刊行)

● = 「江戸時代の文化思想として 関孝和の「三部抄」を読む」 ● = 「数値文化論」

● = 茶の間に対数目盛 3.11 震災に学ぶ

【その他の著書】

※「生活数学シリーズ本(No.1～No.10)」のなかから；● = 「洋算」摂取の時代を見つめる

## 6. 今日のワンポイント

### 【 梅の収穫 】

数日前、テレビニュースで「小田原の梅」というタイトルで収穫風景が放映された。御殿場線沿線の下曽我駅近隣の梅林かも知れないと少年時代に実家から自転車で1時間ぐらいの梅林を訪れたのを思い出す。あの頃は終戦直後でテレビもなくラジオで放送されるほどの話題性もなかったので梅林の存在を知る人は近隣地域に限られていたのでしょう。筆者は幸いにも親戚が近くにあることで、出掛けることができたのでしょう

以来、梅は梅干しや梅酒に変身して年中保存する慣習が身について、今も実行しています。今年も庭先の大小二本の梅の木が実をつけて人手を待っているようです。毎年6月に入って梅の収穫をするので、この収穫の時期は到来したといえるのかもしれませんが。天候が回復したら明日にでも収穫をしましょう。今年の梅の花は最近には見られないほど満開でしたから、例年になく収穫数量は多いけれども小粒になるのかもしれませんが。収穫が楽しみです。

(2025. 6. 1. 岡部 進)



(街路樹を囲む紫陽花 2025. 6. 1. 撮影：前田洋子)

## 7. 編集後記

衣替え 長袖のまま 時期は過ぎ  
紫陽花は 咲いて梅雨入り 待つばかり

当メールマガジンは、今月号で第200回目の発信となりました。「思えば遠くへ来たもんだ」です。お陰様で、新刊本も無事5月17日刊行する事が出来ました。振り返ると長い道ですが、前にはまだ見ぬ未来の道が広がっています。そう思いながら続けてきた結果の長い道、これからも淡々と今日を一所懸命生きる事とします。

また、5月にはコロナ禍で中止したままだった活動のお仲間との飲み会も再開しました。当たり前のようにやっていた飲み会が、特別な事になっていたのです。飲みながら、食べながら、語り合いながら、また、集る事が出来たことを感謝した事でした。

さて、今回の新刊本の、表紙カバーの絵画は友人Kさんの作品です。前々作品の「明日への生活数学」はSさん。前作品の「数学史から十話」はMさん、と洋乃会絵画グループ展の出品仲間の作品を使わせてもらいました。その洋乃会は、5年前のコロナ禍で開催中止にしたままですが、表紙カバーに使わせてもらう事で繋がっている気持ちになる事が出来ます。

200回という節目に、思いが多方面に広がりますが、まずは、読み続けて下さっている事への御礼とともに、これからも変わらずご支援ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

(岡部 (前田) 洋子)

—◎—★—◎—★★—◎—★—◎—  
・・・最後までお読み頂きましてありがとうございます・・・  
—◎—★—◎—★★—◎—★—◎—

■このメールマガジンは、主に岡部進及びヨーコインターナショナル (岡部 (前田) 洋子) に何らかのご縁があって名刺交換等をさせて頂きました方々、あるいは購読を希望され申込をされた方々に、お送りしています。

■配信停止やメールアドレス変更の連絡は⇒Mail ■ご意見、感想文、岡部進へのメッセージなどは⇒Mail ■セッションや本に関する情報を別途不定期で発信する場合があります。ご了承ください。 ■掲載文の無断転載を禁じます。

—◎—★—◎—★★—◎—★—◎—

※・・・岡部進の生活数学を街一杯に・・・※ ※・・・アートの輪・人の輪をライフワークに・・・※

企画・運営 ヨーコインターナショナル 岡部洋子



—◎—★—◎—★★—◎—★—◎—

### 講演会【返信】フォーマット

#### ■ 6 / 2 4 の生活数学セッション

セッション と  懇親会に参加します。

ご氏名 :

電話番号 :

ご同伴者 :

(あれば) コメント :

※会費 : セッション 1500 円 (学割有り) 懇親会 : 2 階カフェにて茶話会

※会場 : 麹町高善ビル 会議室 〒102-0083 千代田区麹町 4-8

※アクセス : 東京メトロ有楽町線麹町駅 4 番出口を出て左、ひとつ目の信号を左、約 100 m. 先左手。(地図 : <http://www.zen-harmonic.com/info.html>)